

政治学委員会分科会の設置について

分科会等名：紛争下の人道的危機に関する国際政治分科会

| | | |
|---|-------------------------------------|---|
| 1 | 所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。) | 政治学委員会 |
| 2 | 委員の構成 | 13名以内の会員又は連携会員 |
| 3 | 設置目的 | <p>東欧、中東、北アフリカなどにおいて、多数の無実の市民を巻き込む武力攻撃が行われ、国際人道法に反する大規模な残虐行為が発生している。この重大な国際問題は、一般化すると、三つの段階からなる。それらは、武力紛争の勃発に先行して、不況・飢餓・気候変動災害などによる生活環境の悪化や特定の国内において多様な集団の共存を可能にする統治体制が機能せず、国外勢力も巻き込む武力紛争を誘発する第一段階、武力紛争が発生し、非戦闘員たる市民や生活基盤までが武力攻撃の対象となる第二段階、紛争が激化・拡大・長期化し、残虐化する第三段階である。本分科会は、これらの三段階に対して以下の分野横断的な考察を行う。</p> <p>第一段階に対しては、統治制度の機能不全（不正、腐敗など）や政治の急進化を促す政治・経済・社会の諸原因と対策の解明を、政治学及び地域研究との協働作業を通じて行う。</p> <p>第二段階に対しては、武力紛争の発生原因と対策を、国際政治学、国際法学における武力行使論の観点から考察する。</p> <p>第三段階に対しては、紛争の限定化の成否、特に残虐化の原因究明、そして休戦、講和を目指す斡旋、仲介、仲裁などの第三者の取組を国際人道法、平和研究、人間の安全保障学を手掛かりに考察する。</p> <p>以上のように本分科会は今日の武力紛争の勃発と残虐化の原因を解明し、その解決の条件を探るという喫緊の国際課題に取り組み、俯瞰的、分野横断的な観点から、単独の学協会で代替できない研究を実施し、その結果をシンポジウムや報告書等として公表することを予定している。</p> |
| 4 | 審議事項 | 武力紛争の勃発と残虐化の原因とその解決の条件について、国際政治学を主軸としつつ、隣接分野をも糾合して俯瞰的に審議する。 |
| 5 | 設置期間 | 令和6年1月25日～令和8年9月30日 |
| 6 | 備考 | |